



ランチやデザートは
2か月ごとに変わる。

シヨンが美しい車両がやってきた。四人掛けのボックス席には可愛いテーブルが設置されており、これから始まる列車の旅への期待が高まる。

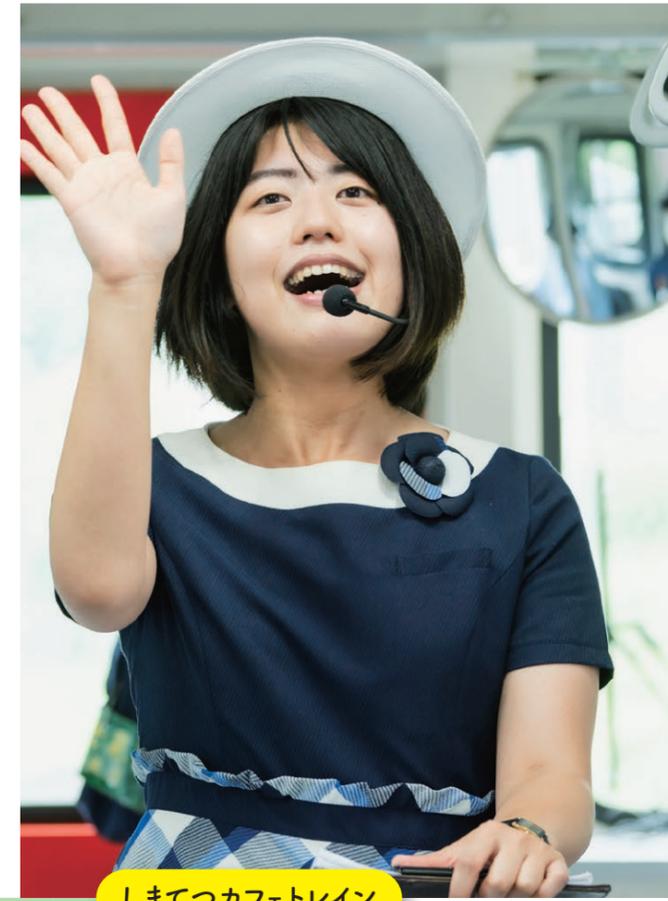
出発と同時に冷たいほうじ茶とランチが運ばれてきた。この日のメインは長崎県産ブランド鶏「長崎ばってん鶏」と小浜産の豆腐を使ったヘルシーなハンバーグ。まぜご飯との相性も抜群だ。

食事を堪能しつつ車窓に目を



美味しい列車の旅へ
発車オーライ！

アテンダントを務める田中穂奈美さん。



しまてつかフェトレイン



やると、列車は諫早市街を抜け、広々とした田園地帯の中を悠々と走ってゆく。カフェトレインの魅力は風景がゆっくりと流れること。時速六十キロメートルの通常の列車と比べ、カフェトレインは時速四十五キロメートルと速度を落としている分、景色を存分に味わうことができる。

その車窓の風景を一層楽しませてくれるのが、アテンダントを務める田中穂奈美さんだ。沿線や各駅の説明はもちろん、島原鉄道に関する豆知識など、思わず聞き入ってしまう。田中さんは島原生まれの島原育ち。「島原のシンボリックな存在である『島鉄』には幼い頃から親しみがあり、地域のためにがんばっている企業だという印象がありました。私もそういう仕事が出来たいと思い、入社しました」と、島鉄愛にあふれている。

田中さんは、カフェトレインで提供されるメニューの決定や飲食店への交渉も行っているそう。『島原の美味しいものを届けたい』という思いから、実際に店に足を運んでその味を確認しているという。

カフェトレインで 諫早から島原へ